

丹後地域公民館だより

電話 0772-75-2111・69-0664 F A X 0772-75-2006 平成20年3月発行 第12号

早春の久美浜町で歴史名所を探訪しました

3月15日(土)に、丹後町歴史講座「文化財めぐり」を実施しました。

本年度は、京丹後市の歴史を学ぶ機会とするため、全国まちづくりサポートセンター地域ガイド丹後塾(以下「丹後塾」)にご協力いただきながら、久美浜町の社寺等を見学しました。

最初に遍照寺(へんじょうじ)を訪れ、太田真照住職から、迎接寺(こうじょうじ)として開山され、現在の遍照寺まで至る経過などについて、ユーモアを交えながら、お話しいただきました。見頃を迎えた紅梅も印象的でした。

如意寺(によいじ)では、友松祐也住職にお話をお伺いしました。お寺の年中行事や、千日会(せんいちえ)のお話、お寺の移設に関するお話などの後、「関西花の寺二十五カ所霊場」にも数えられるお庭を案内していただきました。

お昼には豪商稲葉邸で、「吟松御膳」をいただきました。参加者には、昔の「主食」である麦ご飯を懐かしく思われる方もおり、昔話をしながらの和やかな昼食となりました。邸内の一室から眺める庭園も格別の風情がありました。食事の後はボランティアガイドの方にお世話になり、邸内のご案内をいただきました。

午後からは神谷太刀宮神社(かんだにたちのみやじんじゃ)を訪れ、佐治正胤宮司、丹後塾の久保善康さん、西田晴子さんから神社の説明、周辺にある旧久美浜県庁舎御玄関棟の説明をお伺いしました。

宗雲寺では、丹後塾の方々にご案内いただき、周辺の山道の巡礼道を散策した後、お寺の由緒や、京都府指定名勝である庭園の説明をお伺いしました。



▲ 参加者の様子(宗雲寺にて)

最後の訪問先の本願寺では、紀氏隆雄住職にお話を伺いました。本願寺の由来や、京丹後市内最古の木造建築で、国指定の重要文化財である本堂などの説明をお聞きし、今回は本堂の内部も拝見することができました。このため、須弥壇(しゅみだん)上に安置される、府指定文化財の木造阿彌陀如来立像の絢爛な様子や、千体仏を見学することができました。

早春の好天に恵まれ、21名の参加者は、久美浜町の歴史にふれながら、1日を過ごすことができました。参加者からは、「普段感じることでできなかった、久美浜町の歴史の深さを感じることで、大変有意義でした。残念だったのは『稲葉邸のぼた餅』が、(売り切れにより)お土産として買って帰れなかったことです。」との感想をいただきました。

▼ 記念撮影の様子(丹後町出身の新成人)



また、谷長奏名う十 後文
事火し、口の楽(ち名本市化三
が)たそ一英式団が六(年成会月
以。の二紗辞の当百丹度人館十
き降記後十子な演日五後の式に六
まに念は歳さど奏は十町新が日
す。各写町のんのか出九は成、い
地真別主と後ら席名九人行て、日
域はに張鍋、始し(十のわ
公、記(嶋新ま丹九対れ平に、
民四念をし成りし後名象ま成
館月撮述お人、た町)者し二京
で一影べりを申。はではた十都
受日とまさ代山丹八、八。年府
けなしん表泰後十こ百京丹
取りし市吹の二丹後

新成人の
門出を祝いました